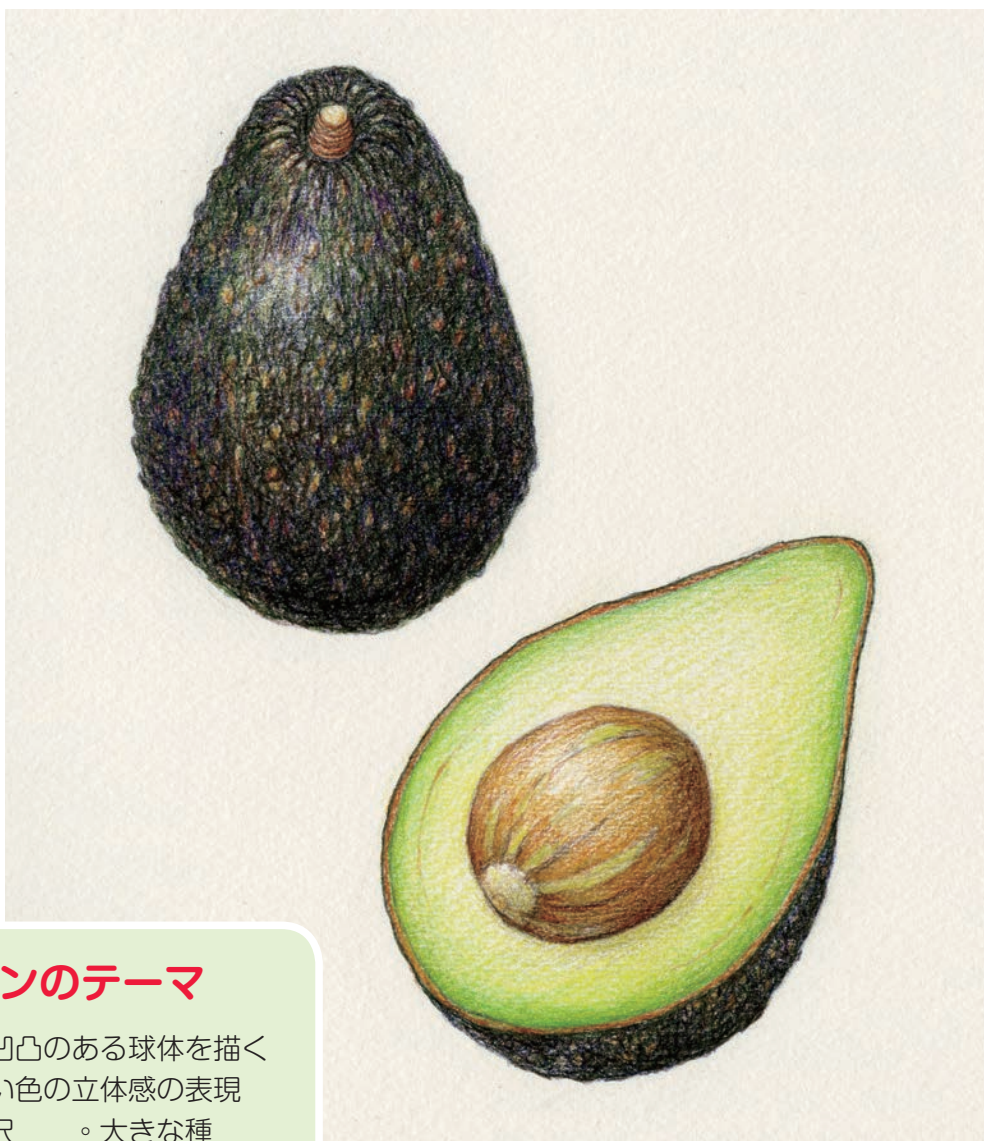


# アボカドを描く

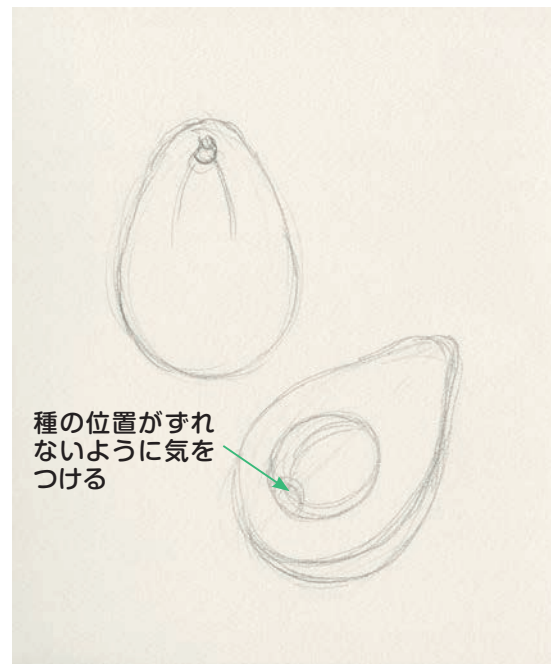
アボカドの皮の表面は不規則な凹凸があり、描くのは難しそうに思えます。でも、対象をよく見て、ていねいに陰影をつけていけば、じょうずに描くことができますよ。

※この作品は 24 色以外の色えんぴつも使用します。(一部、24 色での代用もできます)



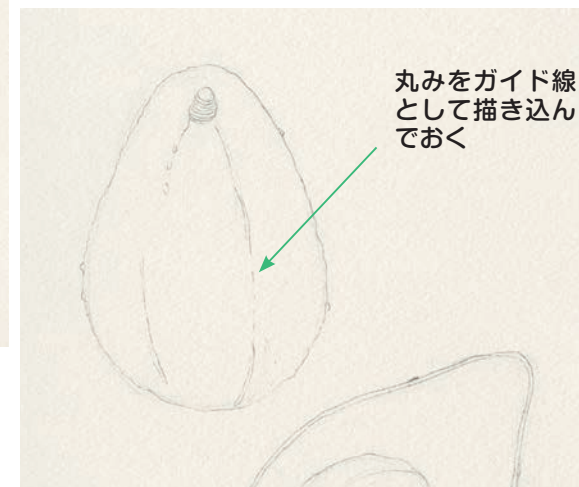
## レッスンのテーマ

- 表面に凹凸のある球体を描く
- 黒っぽい色の立体感の表現
- 鈍い光沢
- 大きな種



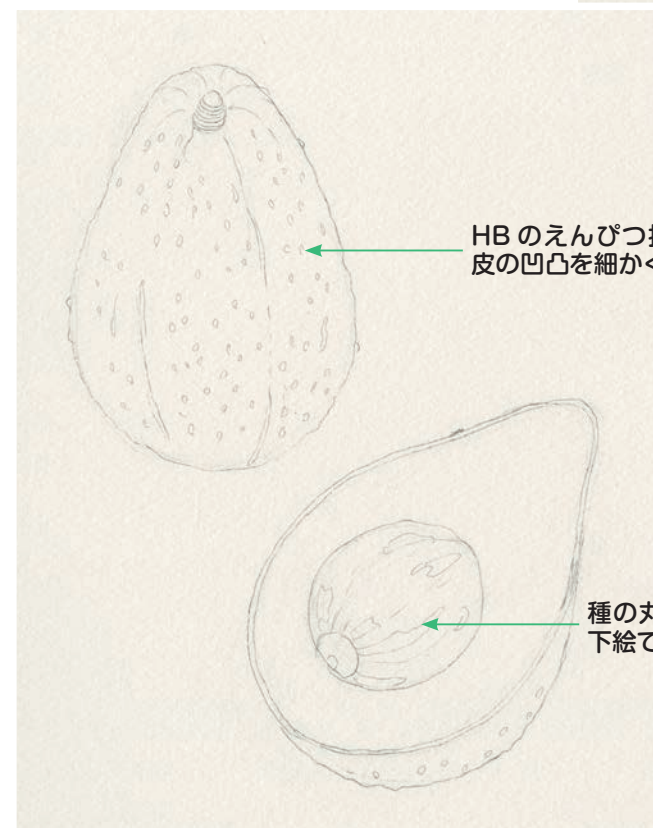
種の位置がずれないように気をつける

構図を決め、4B でスケッチします。  
(※実際の作業では、断面はスペースを空けておいて、後で描き込みます)



丸みをガイド線として描き込んでおく

HB で仕上がり線を描いたら、練り消しゴムで 4B の線を消します。



HB のえんぴつ描きの段階で皮の凹凸を細かく描き込む

皮の厚みも描いておく

表面の凹凸もひとつひとつできるだけ細かく描き込んでおきます。

種の丸みを表現できるように下絵でスジを入れておく

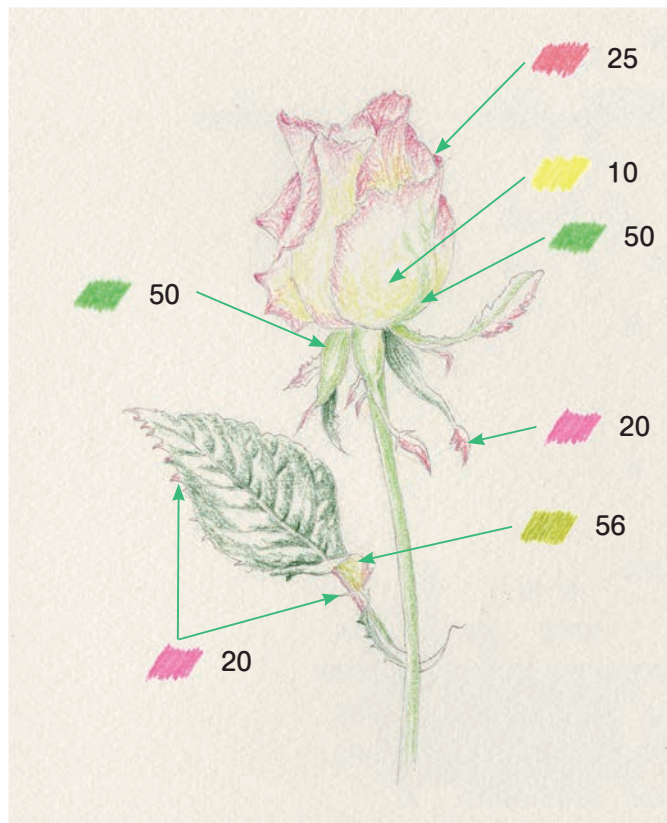
これで下絵の出来上がりです。



立体感を意識しながら塗り進めていきます。  
 萼の先の赤い色や葉の縁の赤色など、特徴のある部分を見つけましょう。

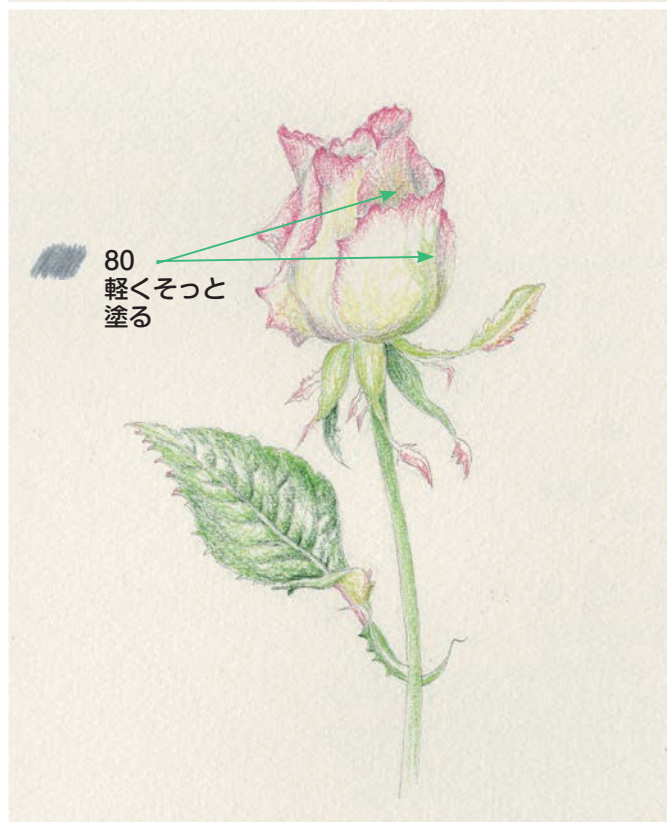
**ワンポイントアドバイス**

葉の光沢は多めに残しておいて、少しずつ塗り進めるようにするといいでしょう。



**ワンポイントアドバイス**

花びらの白い部分の陰影は、グレーの色えんぴつを使って薄めに塗っていきます。



形が変わりやすい花の部分を先に仕上げてください。

ものが重なっているときは、境界線をはっきりさせて手前と奥を描き分けます。ここでは5番で輪郭を描くように塗ります。

